

換気扇の正しい使用法

24 時間換気

住宅でいちばん多い換気法は第三種換気です。これは、トイレあるいは洗面室などに排気用の換気扇を設置し、各部屋に給気口を設置し、換気扇が排気することで、各部屋の給気口から新しい空気を取り入れるという換気方法です。

ここで大事なことは、換気扇のあるトイレあるいは洗面室などのドアには、空気が流れ込むすき間が必要だということです。各部屋の引き戸やドアにも同じようにすき間が必要です。ドアのすき間には、ガラリとアンダーカットがあります。ガラリは、ドアの下のほうにある横格子状の開閉部のことです。アンダーカットは、ドアの下端と床の間を1センチ程度あけておくことです。

意外なことです、24時間時換気が行われているはずなのに機能していない住宅があります。換気扇はまわっているのですが、給気口が欠落していたり、閉められていたり、ドアにすき間がないのが最大の原因です。

レンジフードファン

最新のキッチンセットはとても豪華です。その上にあるレンジフードファンは大丈夫でしょうか。ファンが回転している音は聞こえても、換気が効かないという話をよく聞きます。

その原因のほとんどが「給気口」の欠落です。外部から新しい空気が入らない限り、室内の空気を外に出すことはできないからです。

レンジフードファンのある台所には、給気口の設置が義務付けられています。ところが、給気口がなかったり、あっても閉められていることがあります。料理中に、煙・湯気・臭いがうまく排気されていないように感じたら、給気口の状態を確認してみてください。

編集後記

第10号は昨年10月に発行するお約束でしたが、半年遅れの発行になってしまいました。お詫び申し上げます。今後も継続して発行いたしますのでよろしくお願いいたします。

本号は、住まいの臭いなど、室内空気の問題について特集をいたしました。実は、住宅のトラブルで急増しているのが、結露・カビ・暑い・寒い・湿気る・乾燥する・臭い・目への刺激などの問題です。その延長線に、アレルギーやシックハウス症候群があります。

それらの原因のほとんどは、調査で明らかにできますが、判断が難しい場合もあります。あるべきものが欠落していたり破損しているのを発見するのはたやすいことですが、非破壊検査には限界があります。破壊検査や高度な測定が必要になる場合が増えてきたように思います。

住宅の瑕疵やトラブルが、徐々に複雑で高度なものになっているように感じます。



企業組合 ハウスドクターやまがた

本部 〒990-0832 山形市城西町3-7-33 TEL 023-647-6527 FAX 023-647-6528

ホームページ <http://house-doctor.jp> メールアドレス yama@house-doctor.jp